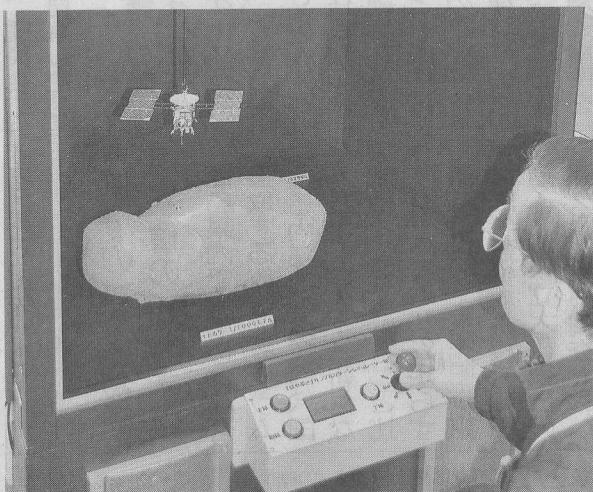


「はやぶさ」の動き体験

小惑星イトカワのサンプルを採取して、地球帰還に成功した探査機「はやぶさ」の動きをゲーム感覚で体験できる装置「はやぶさサンプル リターン シミュレーター」を、刈谷市神田町の市交通児童遊園にあるNPO法人「刈谷おもちゃ病院」が制作した。



制作された「はやぶさサンプル
リターン シミュレーター」

「おもちゃ病院」が装置制作

宇宙航空研究開発機構の「はやぶさ帰還カプセル」理などをボランティアで行うが、市総合文化センターで30日から4月3日まで特別展示されるのに合わせ、同所でも無料公開する。おもちゃ病院は、玩具修

30日～来月3日
刈谷で一般公開

約5か月をかけて制作。高さ、奥行きが約90センチ、幅1メートルのボックスに宇宙空間を作り、はやぶさの模型32分の1を音声の指示で十字レバーを操作して、イトカワ(1000分の1)の目標地点に移動させる。初級者用は20秒以内、また上級者用は10秒以内に発射したレーザー光線がターゲットマーカーに命中すると「大成功、おめでとう」と音声流れる。はやぶさの模型に取り付けた22個のLED(発光ダイオード)ライトがエンジンの点火や上下、左右の動きに合わせて点滅して臨場感を高める。

おもちゃ病院長の石川良雄さん(71)は「技術者OBたちがこだわりとプライドをかけて制作しました」と話している。